

## 水戸 優子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 黒田由香理, 水戸優子. (2024). 看護学生が基礎看護学実習において患者との関わりのなかで「相手の立場に立って考えた」体験－A 大学における分析－. 神奈川県立保健福祉大学誌, 21(1), 3-12.
- 2) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川 学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 保健医療福祉連携, 17(1), 2-13.
- 3) 渡邊 恵, 長島俊輔, 水戸優子. (2024). 多職種連携教育における「模擬電子カルテ」活用の意義および導入戦略と課題：スコーピングレビュー. ヒューマンサービス学会誌 2023, (1), 18-27.

### 3 その他の著作

- 1) 水戸優子. (2024). 巻頭言 5 巻発刊に寄せて. 看護人間工学会誌, 5, 1.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護技術学会 理事, 研究活動推進委員長, 専任査読委員, 研究活動推進委員長として看護技術の研究活動の推進, 学術集会最優秀賞の選出, 研究助成の選考, オンライン研修会開催の企画・運営を行った. さらに日本看護技術学会に投稿された論文の査読を行った. 2023.4.～2024.3.
- 2) 日本看護技術学会 技術研究成果検討委員 (移動動作評価班), 看護系学会等社会保険連合委員, 日本看護技術学会において移動動作評価班に所属し, 研究活動を行った. 2023.4.～2024.3.
- 3) 日本看護学教育学会 評議員, 専任査読者として年 2 回の会議に参加, 並びに 1 本の査読を行った. 2023.4.～2024.3.
- 4) バイオメカニズム学会 評議員として学会運営, 優秀論文の審査. 2023.4.～2024.3.
- 5) 日本看護科学学会 代議員, 社会貢献委員として市民公開講座のパンフレット作成ならびに次世代育成プログラムの企画運営. 2023.4.～2024.3.
- 6) 看護人間工学会 理事長, 評議員として学会の企画運営. 2023.4.～2024.3.
- 7) ヒューマンサービス学会 理事, 事務局長として学会の総務, 広報, 学会誌編集, 会計等活動. 2023.4.～2024.3.

### 5 社会貢献

- 1) 横須賀共済病院の 5 部門の看護職者研究グループの研究指導. 2023. 6. ～2024. 3.
- 2) 東名厚木病院の 10 部門の看護職者研究グループの研究指導. 2023. 4. ～2024. 3.
- 3) 学内実習ステーションのプレ企画として横須賀市在住の住民に呼びかけ, 模擬患者育成プログラムの研修会講師. 2023.11.

## 6 講演, 放送

- 1) 山梨県立大学大学院博士後期課程「臨床開発学看護学特論」非常勤講師. 2023.7.14.  
株式会社メディックメディアのオンラインセミナーにて、「学年を横断して丸ごとつながる！基礎看護学の授業設計」講師. 2023. 11.26.
- 2) 神奈川県立病院機構主催の「人材育成：お互いに学び合い、共に成長できる人材育成に取り組もう」講師. 2023.6.23, 11.2.
- 3) 神奈川県看護協会令和3年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル質管理Ⅱ, 看護サービスの質保証(文献の読み方) 講師. 2024.1.11.
- 4) 日本看護技術学会「第13回全国キャラバン研修会ジェネラルナースの技術力を高めよう！移動動作技術のきほんと用具の活用」研修会講師, 2024.3.9.
- 5) 日本医療安全学会教育研修委員会企画セミナー2023「バーチャルリアリティを用いた新しい医療安全へのアプローチ～医学・看護から医療安全へ～」講師. 2024.6.24.
- 6) 第11回看護理工学会学術集会3学会ジョイントセッション「エビデンスに基づく看護技術の創成が期待される看護系学会が目指すもの」講師. 2023.6.10.
- 7) 日本看護技術学会第21回学術集会交流セッション「エビデンスに基づく看護技術の創成が期待される看護系学会のチャレンジ」講師. 2023.10.15.
- 8) 第19回医療の質・安全学会学術集会シンポジウムVR・AR・メタバースによる医療安全活動への応用についての講師. 2023.11.25.

## 7 学会等での活動

- 1) 水戸優子, 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 星美鈴. (2023). 交流セッション21看護基礎教育におけるICT教育環境の実態と課題.日本看護学教育学会第33回学術集会. 発表. 2023.8.27.
- 2) 日本看護技術学会第33回学術集会. 一般演題, 教育評価. 座長. 2023.8.27.
- 3) 水戸優子, 森朱輝, 長島俊輔, 佐々木杏子, 渡邊恵, 加藤木真史, 荻原典子. (2023). 看護初学者の看護技術トレーニングシステムの開発と効果—AR法と手順書との比較. 日本看護技術学会第21回学術集会講演抄録集. 発表. 2023.10.15.
- 4) 西田直子, 國澤尚子, 若村智子, 水戸優子, 平田美和, 富田川智志, 首藤英里香. (2023). 交流セッション12再考！用具を使って安全, 自立を意識した移動介助の“きほん”. 日本看護技術学会第21回学術集会講演抄録集. 発表. 2023.10.15.
- 5) 長島俊輔, 間瀬由記, 宮芝智子, 星美鈴, 水戸優子. (2023). 看護基礎教育におけるICT活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その1：看護専門学校と大学の比較. 第43回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.9.
- 6) 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 星美鈴, 水戸優子. (2023). 看護基礎教育におけるICT活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その2：整備上の取組み・苦慮・工夫—. 第43回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.9.
- 7) 宮芝智子, 間瀬由記, 長島俊輔, 星美鈴, 水戸優子. (2023). 看護基礎教育におけるICT活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その3：遠隔授業の導入・継続の課題—. 第43回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.9.
- 8) 高島真美, 鮫島輝美, 菊原美緒, 合田友美, 鈴木智恵子, 水戸優子, ウィリアムソン彰子,

新屋智子, 米満潔, 田仲浩平. (2023). 看護教育の XR 教材開発プロセスと開発ニーズの明確化. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.10.

9) 星美鈴, 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 水戸優子. (2023). COVID-19 影響下での ICT を活用した遠隔授業内容と評価指標の実態. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.9.

10) 水戸優子, 丹佳子. 西村礼子, 細田泰子, 三浦友理子. (2023). シンポジウム 3 看護臨床判断のパーソペクティブ教育から研究へ. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 座長. 2023.12.10.

## 8 学内教育活動

### 1) 学部

看護学原論, ヘルスアセスメント論, 看護技術論 I, 看護技術論 II, 看護技術論 III (看護過程), 看護倫理, 基礎看護学実習 I, 基礎看護学実習 II, 基礎看護学実習 III, 統合実習, 卒業研究. ダンスサークル顧問として, 横須賀市主催の企画への参加を支援した. うみかぜ祭実行委員長の支援を行った.

### 2) 大学院 (博士前期・後期課程)

博士前期課程の基礎看護学特論, 基礎看護学演習, フィジカルアセスメント, 病態生理学, 看護倫理, 看護学特別研究の科目を担当し, 指導教員として 1 名, 指導補助教員として 1 名の大学院生を指導した. 博士後期課程の科目である包括支援看護学特論, 包括支援看護学演習を担当し, 1 名の院生の主査を務めた. 大学院研究生を 1 名指導した.

### 3) 実践教育センター

教員・教育担当者養成課程の看護教育課程論(基礎看護学), 看護論演習, 実習指導者講習会の科目看護論(看護理論, 看護過程)を担当した.

## 9 学内各種委員会活動

1) ヒューマンサービスパーチリーダーとして, メンバーとともにヒューマンサービスパーチ (A552) を開設し, 運営ルールを整備し運営した. 通年.

2) ヒューマンサービスパーチリーダーとしてヒューマンサービス学会ならびに神奈川県立同窓会との連携, 協働を行うしくみを作り, 2023 年 11 月 5 日に第 1 回ヒューマンサービス学会学術集会を開始し, 同窓会企画を支援した. 通年.

3) ヒューマンサービスパーチリーダーとして, 2024 年 1 月 23 日に同窓会と共催して, 国家試験前の学部 4 年生および全学生のための餅つき大会を企画, 運営した. 通年.

4) 学内実習ステーション委員として, 学内実習ステーションの開設に関わり, プレ企画として看護学科学生の看護技術演習に地域住民を「模擬患者」として参加する企画を運営した.

5) 大学院入試委員として入試業務に携わった. 通年.

6) 大学院副研究科長として, 大学院の教育運営に関わった. BP プログラムの申請, 養護専修・栄養専修免許申請に関わる業務に携わった. 通年.

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 水戸優子研究代表者. 腰痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの普及と実装. 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 基盤研究 C, 50 千

円, 2022.4.～2023.3.

2) 水戸優子研究代表者. 地域・在宅向け腰痛予防対策指針をふまえた移動技術ハイブリッド型研修システムの構築. 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 基盤研究 C, 1,470 千円, 2023.4.～2024.3.

3) 鮫島輝美研究代表者, 水戸優子研究分担者. 教育 DX 化にともなう技術教材の教育的意義・活用の開発を目指したアクション・リサーチ. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 B, 18,460 千円 (分担 300 千円), 2023.4.～2024.3.

#### 11 学内研究助成金の受託

森朱輝研究代表者, 水戸優子研究分担者. AR (Augmented Reality : 拡張現実) を用いた標準予防策および手指衛生技術トレーニングプログラムの開発. 看護学科共同研究助成, 200 千円.

#### 12 受賞

神奈川県立保健福祉大学 学長表彰受賞「ヒューマンサービスパーチ運営, 学生・同窓会支援, コロナ禍での遠隔授業体制の整備」. 2024.3.19.